

令和2年度 10月 システム監査技術者試験 出題趣旨

午後Ⅱ試験

問1

出題趣旨

AI技術の進展に伴い、画像認識による顔認証、テキスト・音声を通じて会話するチャットボット、人材マッチングによる採用支援、顧客の信用カスコアリングによる与信審査など、AI技術を利用したシステムであるAIシステムの導入事例が増えてきている。

一方、AIシステムには、予測・判断結果の解釈が難しかったり、精度が低かったりすることがあるので、機能要件を確定してから構築する従来の開発手法による対応では難しくなる。また、精度を高めるための収集データの加工に多くのコストが掛かったり、ベンダが有するノウハウなどの権利帰属の問題によって、ユーザの利用時に制約が生じたりすることも想定される。

本問では、システム監査人として、AIシステムの利用段階において想定されるリスクを踏まえて、AIシステムの導入目的、開発手法、ユーザ・ベンダ間の取決めなどが適切かどうかを企画・開発段階において監査するための知識・能力などを問う。

問2

出題趣旨

IT組織は、外部サービスの利用拡大に伴って、従来のOJTによる知識・経験が習得できなくなったり、IT組織の要員削減や新たな能力の獲得・維持が求められたりする。また、AIシステムなどの新技術の導入においては、新たな開発手法や技術に関連する知識・経験に加えて、組織全体のデジタル化推進役がIT組織に求められる場合がある。

これらのIT環境の変化によってIT組織に求められる役割・責任の変更は、新たなIT組織の役割・責任を達成できないリスクを発生させる。したがって、IT組織の役割・責任を適切に果たすためには、これらのリスクへの対応策を適切に構築し、有効に運用する必要がある。

本問では、システム監査人として、IT環境の変化によって新たに求められるIT組織の役割・責任を適切に果たすことを阻害するリスクの評価及びこのリスク対応策が適切かどうかを監査するための知識・能力などを問う。